



Contents

《主な内容》

国民健康保険税の税率引き下げ・・・・・・2

補正予算 - ふるさと納税のあり方・・・・・・3

全議員による新年度予算の注目ポイント・・・6～7

問題提起・提案〔代表質問&一般質問〕・・・8～13

コミュニティFMに関連し修正動議・・・・・・14

先進議会を視察 研修成果を共有・・・・・・16～17

撮影者 鎌田 知孝さん

撮影場所 北上警察署剣道スポーツ少年団
さくら館

《撮影者による写真の説明》

北上警察署4階の剣道場で、子どもたちが一生懸命稽古に励んでいます。3月に北上総合体育館で行われた第4回「六三四の剣」杯少年少女剣道大会では、個人戦・団体戦どちらも入賞しました。小学生の団員を随時募集していますので、フェイスブックを見てもらえれば嬉しいです。

表紙を飾る写真を大募集!!

北上市内で撮影した風景、四季折々の行事、子どもたちの活動等の写真をお待ちしています。募集要項と応募用紙は、ホームページからダウンロードできます。

市税条例

・北上市市税条例等の一部を改正する条例

全員が
賛成しました

国民健康保険税の 税率引き下げを決定

平成29年度から国民健康保険税医療分の税率を引き下げることとしました。1世帯あたりの平均割を2千円、1人あたりの均等割を1千円引き下げます。例えば、単身世帯であれば2千円+1千円で3千円の軽減、4人世帯であれば、2千円+4千円で6千円の軽減となります。



平成29年度予算が成立（↓4ページ）
中央学校給食センター建設事業には意見を付す

現在、市が主体となっている国民健康保険の運営は、平成30年度から都道府県が責任主体となります。今回の条例審査では、その点に関連した質疑も出されました。

Q 国保運営の都道府県化以降の見通しは。

A 県への納付金は、市町村の医療費水準や所得水準により算出され、具体的な金額が示されるのは、平成30年1月の予定。納付金が未定である現時点で見通しを立てることは難しいが、できるだけ今回引き下げる税率を維持したいと考えている。

がん対策 基金条例

・北上市がん対策基金条例の一部を改正する条例

全員が
賛成しました

基金の設置目的に 在宅療養支援を明記

医療技術の向上により、がん患者が尊厳を保ちながら、安心して暮らせる社会の構築が、がん対策の主眼となっています。これまで、基金の目的は「がんの予防・末期医療対策」でしたが、さまざまなライフスタイルに対応した支援を行うために、基金の目的を「がんの予防・在宅生活や在宅療養への支援」に変更しました。



その他 条例

- ・北上市職員の育児休業等条例及び北上市職員の勤務時間、休日及び休暇条例の一部を改正する条例
- ・北上市財産の交換、譲与、無償貸付等条例の一部を改正する条例
- ・北上市体育施設条例の一部を改正する条例
- ・北上市立保育所条例の一部を改正する条例
- ・北上市学童保育所条例
- ・北上市土地改良事業賦課徴収条例

全員が
賛成しました

黒沢尻北学童保育所 公の施設に規定

移転新築し、今年5月開所の黒沢尻北学童保育所を、市が設置する公の施設と定めました。他の学童保育所についても、父母会や関係機関と調整し、公の施設として条例に追加していく見通しです。

北上市民滑田プール 廃止を決定

老朽化により、市民滑田プールを廃止することになりました。これまでの利用者が、江釣子小学校のプールに集中することが予想されることから、対策を求める意見が出されました。

会議期間
3月2日～24日

審議した議案
予算…11件
条例…8件
修正予算…9件
人事…2件
発議案…2件

補正予算

- ・平成28年度北上市一般会計補正予算（第7号）
- ・平成28年度北上市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- ・平成28年度北上市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- ・平成28年度北上市介護保険特別会計補正予算（第4号）
- ・平成28年度北上市工業団地事業特別会計補正予算（第3号）
- ・平成28年度北上市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
- ・平成28年度北上市宅地造成事業特別会計補正予算（第1号）
- ・平成28年度北上市電気事業特別会計補正予算（第3号）
- ・平成28年度北上市下水道事業会計補正予算（第3号）

全員が賛成しました

貸研究工場の整備を事業化

約1億9千万円で新たな貸研究工場の施設整備を行います。費用の半額は、国の交付金を充当。貸与先は、岩手大学と金型の共同研究を進められる事業所1社の公募を予定しています。

ふるさと納税返礼品のあり方

およそ7億円まで増加した「ふるさと北上応援寄附」への質疑が出されました。

Q 自治体間の過度な競争が問題視されているが、返礼品の考え方は。

A 過剰な返礼品は設定しておらず、小規模農家や事業所でも参加できるように考えて返礼品を定めている。

人事

全員が賛成しました

- ・北上市副市長の選任について
- ・人権擁護委員の候補者の推薦について

副市長の選任

平成25年4月から副市長を務めている及川義明氏を引き続き選任することを決定しました。

人権擁護委員の候補者の推薦

次の5名を、人権擁護委員の候補者として法務大臣に推薦することを決定しました。

- 高橋 栄子氏（再）
- 菊池 吉則氏（再）
- 千田 文子氏（再）
- 佐々木 利幸氏（再）
- 高橋 幸恵氏（新）

総務常任委員会が意見書を提案

免税軽油制度の継続を求める意見書

軽油引取税の課税免除の特例措置である「免税軽油制度」は、農林業用機械を使用する事業者や、グレンデ整備車を使用するスキー場経営者にとつて、大きな支援助となってきました。地域産業の振興のためにも、免税軽油制度を平成30年度以降も継続するよう国に求めるものです。

全員が賛成しました

「テロ等準備罪」を新設する組織犯罪処罰法改正案の慎重な審議を求める意見書

「テロ等準備罪」を新設する組織犯罪処罰法改正案は、一般人が処罰の対象となることや、権利・自由の制限を危惧する声があることから、国会での成立にこだわることなく、国民の不安や疑問に答えられるよう幅広い観点から慎重に審議するよう国に求めるものです。

全員が賛成しました

意見書 願

免税軽油制度の継続を求める請願書（提出者）株式会社北日本リゾート
意見書が可決したため、同じ趣旨の請願も「採択」とみなします。

採択

「テロ等組織犯罪準備罪」（共謀罪）法案を国会に提出しないことを求める請願（提出者）治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟北上市支部ほか6名
「請願は、法案を国会に提出しないことを求めているが、テロ等準備罪に関する動向を踏まえると、国に対して慎重な審議を求めるべきではないか」との意見があり、全会一致で「趣旨採択」となりました。

趣旨採択

採決の結果は
5ページ

- ・平成29年度北上市一般会計予算
- ・平成29年度北上市国民健康保険特別会計ほか8件の特別会計予算
- ・平成29年度北上市下水道事業会計予算



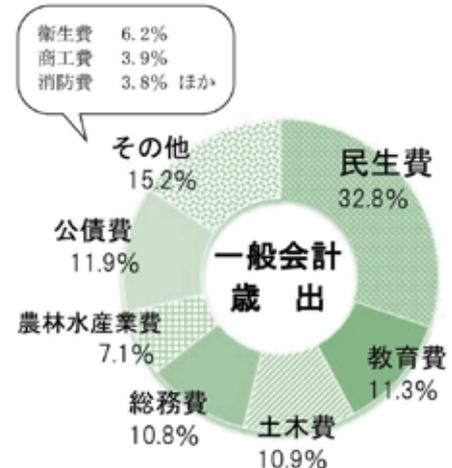
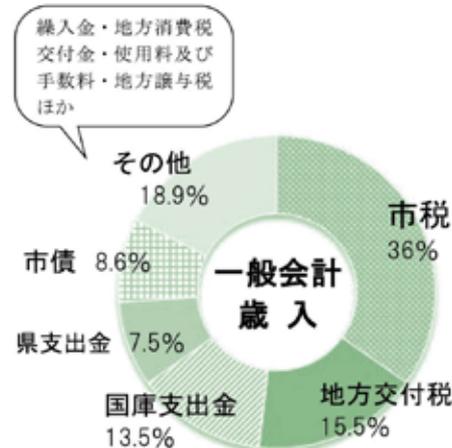
平成29年度予算を可決

議長を除く25名の議員で、予算特別委員会を組織し、平成29年度予算について審議しました。予算特別委員会は、予算の議案が提出される3月通常会議の際に設置される特別委員会です。予算特別委員会における審査は、各常任委員会の所管事項ごとに分科会を設けて行われました。みなさんから納めていただいた税金を、どのようなことにいくら使うのか、これまでの課題を解決できるような計画となっているのかを詳細に審査しました。

▼ 予算審議の流れ

※予算の詳細は、4月28日発行の広報きたかみにも掲載しています。

本会議（3月2日） 11件の予算議案を、予算特別委員会で審査することにしました。



一般会計 370億 2,000万円

一般会計
+ 特別会計 572億 423万円

◆ 一般会計・特別会計の予算 ※表中の金額は、1万円未満の切り捨て等をしていす

会計名	平成29年度	平成28年度	前年度比
一般会計 ①	370億2,000万円	367億9,600万円	2億2,400万円
特別会計 ②	201億8,423万円	202億2,955万円	△4,532万円
国民健康保険	91億2,982万円	96億5,553万円	△5億2,571万円
後期高齢者医療	15億1,074万円	14億5,347万円	5,726万円
介護保険	78億5,656万円	74億6,151万円	3億9,504万円
工業団地事業	2億7,426万円	3億3,686万円	△6,260万円
農業集落排水事業	8億8,279万円	8億5,498万円	2,781万円
駐車場事業	3億4,504万円	2億9,518万円	4,986万円
宅地造成事業	3,174万円	3,607万円	△432万円
電気事業	1億4,321万円	1億2,566万円	1,754万円
土地取得	1,004万円	1,026万円	△21万円
合計 ①+②	572億423万円	570億2,555万円	1億7,867万円

◆ 下水道事業会計の予算

項目	平成29年度	平成28年度	前年度比
収益的収入	25億 424万円	25億3,299万円	△2,875万円
収益的支出	23億3,277万円	24億 201万円	△6,924万円
資本的収入	15億4,400万円	11億7,480万円	3億6,920万円
資本的支出	23億4,770万円	19億9,365万円	3億5,405万円

【収益的収支】

汚水や雨水を処理し、水を再生するために必要な収入と費用を計上した予算

【資本的収支】

下水道施設を建設・改良するために必要な収入と費用を計上した予算

予算特別委員会（3月2日）

委員長と副委員長を互選しました。

委員長 高橋 初男 副委員長 小田島 徳幸

予 算

予算特別委員会分科会（3月10日～15日）

3つの分科会ごとに審査しました。

予算特別委員会（3月17日）

分科会委員長から審査の経過について報告があり、それを受けて委員会としての採決を行いました。

本会議（3月24日）

予算特別委員長から審査報告があり、2名の議員が討論を行いました。11件の予算議案を採決し、すべて可決しました。

反対討論

鈴木健二郎 議員

一般会計予算に反対

部分的に市民要望に応えた施策はあるが、全体的に市民生活を救済する予算になっていない。子育て支援では、待機児童が減少しておらず、小規模保育など民間に頼る方向となっている。教育環境では、早急な学校トイレの洋式化100%を達成すべきと考え

賛成討論

菊池 勝 議員

11件すべての予算に賛成

総合戦略を本格的に進めるため、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり」「地域産業の振興」「暮らしを支える地域公共交通体系の構築」「シテイプロモーションの推進」を重点プロジェクトとした予算となっている。子育て応援1億円プロジェクトとして、

る。中央学校給食センターの建設事業は、情報公開と検証が不十分でプロセスに問題があり、認められない。財政優先で論じるべきではなく、教育・地域振興の観点に立って検討すべきである。農業については、農家の所得補償をしっかりと予算化することが最大の就農支援である。これらの理由から一般会計予算に反対する。

保育料の軽減や住宅取得への補助金の創設。産業支援センター開設による産業間連携の推進。農業の生産性向上や、公共交通の利用促進にも取り組むこととしている。特別会計では、国民健康保険税の税率が引き下げられ、被保険者の負担が軽減されている。重点事業を積極的に推進する予算であることから賛成する。

採決結果

全員が賛成しました

特別会計8件（国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・工業団地事業・農業集落排水事業・宅地造成事業・電気事業・土地取得） 下水道事業会計

	賛否		新 清 会					北 新 会					北 政 会					無 会 派									
	賛成	反対	菊池	昆野	齊藤	藤本	高橋	高橋	平野	小田	三宅	阿部	武田	梅木	小原	高橋	佐藤	及川	八重	高橋	熊谷	小原	安徳	星	八重	鈴木	
一般会計	21	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
駐車場事業特別会計	23	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

付帯意見

予算特別委員会では、次の意見を付しました。

「中央学校給食センター建設事業」の執行にあたって、特に最初の段階である「実施方針」を作成する際には、財源圧縮効果などの計算根拠も含めた情報を公開し、市民や議会に対して説明や協議の場を設け、コンセンサスを得ながら進めること。

付帯意見とは...

議会の委員会が議案を可決した際に、その委員会の意思（要望や留意事項）を表明するものです。拘束力はありませんが、市当局は付帯意見を尊重することが求められます。

次のページは、全議員の注目事業を紹介

ここに注目!!

26名の議員が選んだ

新年度の事業

平成29年度予算の中から、26名の各議員がそれぞれの視点から注目した事業等を紹介しします。新たな事業や制度の効果についても引き続き注視していきます。



【高橋 穂至 議長】
会議等タブレット
整備事業

議会改革で約4年にお
 たり検討してきた事業
 で、紙資源節約やコス
 ト削減だけでなく、情
 報共有のスピード化と
 事務の効率化ができま
 す。



「福祉」や「教育」
「環境」などの分野

《教育民生常任委員会》

【齊藤 律雄 議員】
笠松小学校の耐震診断

昭和56年以前の木造
 建築の耐震診断が義務
 化され、笠松小学校が
 対象となりました。こ
 の診断結果を重視し
 て、子ども達の教育環
 境の整備充実を強く望
 みます。

【小原 享子 議員】
病後児保育

私立のいとよ保育園で
 実施される。市が実施
 する病後児保育室（幸
 町）に次いで2カ所
 目。定員6名で、い
 とよ保育園利用の子ど
 もだけでなく、市全体
 の子どもが対象。

【梅木 忍 議員】
**子育て世帯の
住宅取得への補助金**

子育て世帯が市内に住
 宅を取得した際、30
 万4千円を補助。市
 はこの目玉事業に期待
 を寄せる。さて、定住
 化促進の起爆剤となり
 得るか？

【鈴木健二郎 議員】
**中央学校給食センター
建設**

民間が建設・運営する
 PFI方式での建て替
 えが提案されました。
 市が市民や議会と十分
 に協議せずに計画を進
 めたことを問題視しま
 した。

【八重樫七郎 議員】
**外国人語学指導助手
招致事業**

英語指導の重要性が増
 している。現在は5名
 体制だが、東京オリ
 ムピックの年までに、9
 つある中学校区に各1
 名の配置を目指すと言
 明あり。

【高橋 初男 議員】
学校のトイレ洋式化

黒岩小、更木小、和賀
 東小でトイレ洋式化工
 事を行います。他に3
 校で実施設計を行いま
 す。教育環境整備のた
 め、トイレの洋式化を
 一層加速させるべきで
 す。

【高橋 晃大 議員】
**太陽光パネルと
蓄電池設置**

北上総合体育館に太陽
 光パネルと蓄電池を設
 置する。総合運動公園
 内の施設で電力を融通
 し合うことにより、二
 酸化炭素排出量の削減
 に効果。

【三宅 靖 議員】
**介護人材の育成と
確保のための補助金**

市内の介護福祉士養成
 校の生徒に月4万円を
 支給。返還不要。奨学
 金を借りている人が市
 内介護施設に就職すれ
 ば返還額を5年間補助
 する。

【平野 明紀 議員】
**介護予防・生活支援
サービス事業**

介護事業者による訪
 問・通所介護に加え、
 地域の支援グループな
 どによるごみ出しや外
 出支援などのサービス
 が新たに始まります。



「財務」「まちづくり」
「消防」などの分野

《総務常任委員会》

【佐藤 恵子 議員】
スポーツコミッション
スポーツを通して地域振興を行う団体の「スポーツリンク北上」が立ち上がりました。大会や合宿の誘致活動などに取り組み、交流人口の拡大を目指します。

【八重樫 善勝 議員】
消防車両の整備
2台を更新予定。このペースだと、市内64部を更新するのに20〜30年かかる。確かに走るし水も出るが、市民の安全を支えるには進ちよくを早めるべきでは。



「商工業」や「農業」
「道路」などの分野

《産業建設常任委員会》

【安徳 壽美子 議員】
ぼたん橋の架け替え
黒沢川に架かる「ぼたん橋」を架け替えることとで、車道と歩道を含めると現在より4メートルほど広くなります。工事は平成30〜31年度に行われる計画です。

【小原 敏道 議員】
地域公共交通再編実施計画の策定
具体的なアクションプランはNPO法人へ委託し、地域の意見を聞きながら策定する。和賀診療所も廃止となり、交通弱者の救済に期待。

【及川 誠 議員】
社会教育施設のPCB廃棄物処分
旧市民会館のPCB廃棄物処分費用に1300万円計上。トランスの油など、未処分のPCB廃棄物の全容を開示し、早急に処分すべきだ。

【武田 勝 議員】
展勝地プールのトイレ水洗化工事
市内唯一の50メートル公認プール「展勝地プール」のトイレ水洗化工事と、ろ過機を更新する。今後の体育施設整備にも期待。

【熊谷 浩紀 議員】
運転免許返納者の公共交通利用促進
運転免許を自主返納した75歳以上の高齢者ドライバーに、バスなどの公共交通で利用できる免許返納サポート券を交付するものです。

【昆野 将之 議員】
輝くビジネスプラン応援事業
市内中小企業者などの、地域貢献に資する優れたビジネスプランを募集・選定し、クラウドファンディングによる資金調達を支援します。

【小田島 徳幸 議員】
橋の長寿命化
日高見橋を含め北上川に架かる橋梁の長寿命化のための予算を審議しました。早期診断をすることで修繕費を安くし、長持ちさせることができます。

【佐藤 重雄 議員】
農業次世代人材投資資金
青年就農者の定着を支援するため、1人1年あたり150万円を最長5年間給付。25人分の予算が組まれたので、ぜひ活用してほしい。

【高橋 光博 議員】
保育料の軽減（歳入）
子育てを応援するため、平成29年度から、夫婦の年収640万円未満の世帯で、第2子の保育料が半額、第3子以降は無料と、多子世帯の負担を軽減します。

【菊池 勝 議員】
北上第2運動場の人工芝への改修
北上総合運動公園の第2運動場が生まれ変わります。市民待望、初の人工芝グラウンドとして、9月には使用を開始できる予定です。

【阿部 眞希男 副議長】
インフラ資産のマネジメント
公共施設の更新や統合、適正配置については、市民とともに計画づくりを進め、優先順位をつけて事業をスピードアップすべき。

【高橋 孝二 議員】
産業振興アドバイザー 関満博氏の著書購入
産業集積先駆モデル北上を紹介した書籍300冊を購入。取材協力企業に70冊、中学校、高校、図書館にも配る。残りはストック。

【星 敦子 議員】
若者・女性のためのチャレンジショップ
空き店舗に出店するショップの運営を、大家さんと企画する事業者を募集。採択されると3年間の補助金。小さく始める創業のチャンス！

【藤本 金樹 議員】
農業中間支援事業
農業支援センターで、6次産業化など多様な農業者ニーズに対応するため、情報収集と提供を行います。また、関係機関と連携し、農業振興を支援します。

会派代表質問



高橋 光博
菊池 勝
昆野 将之
齊藤 律雄
藤本 金樹
高橋 初男
高橋 穩至

**農業支援センターと
産業支援センターの
位置付けは**

Q それぞれの役割は。

A 農業支援センターは、農業に関する情報を収集し、農業者や関係機関に提供するとともに、担い手育成や6次産業化、経営課題の解決に市の担当課や関係機関と連携して取り組む。産業支援センターは、工業、商業、観光及び農林業を包括的に支援する。産業間連携や起業による新事業の創出を支援し、魅力ある地域産業を振興するため、これまでの基盤技術支援センターの機能を強化して、平成29年4月に設置する。



代表質問者
たかはし みつひろ
高橋 光博 議員

Q 農業支援センターと産業支援センターの連携の必要性を示せ。

A 例えば、6次産業化や農業部門の販路拡大などで、両支援センターが連携して対応することも考えられる。

**シティプロモーションの
推進策は**

Q 平成28年度の成果と今後の取り組みは。

A プロモーション力を強化するため、情報発信を担う職員の研修を行ったほか、市民が市の魅力を発信する機会として、PR動画コンテストを開催した。また、都市ブランドメッセージ(*)を市民参画で

策定している。これらの取り組みは、市民や職員の意識醸成と担い手育成の第一歩となった。引き続き職員の情報発信力の強化や市民のシビックプライド(*)の醸成、対外的な認知度向上に取り組む。

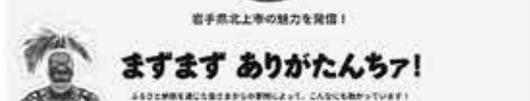
Q ふるさと応援寄附にシティプロモーション効果を取り入れるべきでは。

A 寄附の返礼品として市の特産品を送っている。地域から特産品を発掘し、商品にして送るといふ返礼品開発の進め方は、まさにシティプロモーションの展開と合致している。ふるさと応援寄附を通じて、市民や寄附者からの共感や、愛着の獲得を目指していく。

子育て環境の充実策とは

Q 平成29年度予算の目玉、「子育て応援一億円プロジェクト」の内容は。

A 子育て家庭への経済的支援として、保育料の軽減拡大と、住宅取得への補助を行う。保育料軽減は、夫婦の年収が概ね640万円未満の世帯で第2子の保育料が半額に、第3子以降は無料になる。住宅取得補助は、子育て世帯が市内に住宅を取得する際、その費用の一部として30万円を給付する。また、親との同居やU・Iターンする者が家を取得した場合には更に10万円を加算する。



▲ ふるさと納税特設サイト 「きたかみチョイス」

(*)都市ブランドメッセージ：北上市の魅力や価値観を、誰もが共感できるように表現したもの。
(**)シビックプライド：北上市への愛着、誇り。

会派代表質問



小原 敏道
平野 明紀
小田島徳幸
三宅 靖
阿部眞希男
武田 勝
梅木 忍

利便性を考慮した 地域公共交通網の構築を

Q 地域住民との話し合いの経過と課題は。

A 地域公共交通会議を2回開催し、6つの地区でヒアリング調査を行った。また、公共交通利用者に意見を伺ったほか、様々な世代にインタビュー調査を行い、課題を整理している。

Q 高齢者バス券の利用拡大の考えは。

A 平成29年度から、バスだけではなく、市内のタクシーと口内地区のNPO輸送にも利用できるようにする。鉄道での利用については、今後JRと協議していく。



代表質問者
おばら としむち
小原 敏道 議員

Q 地域交通拠点づくりの考え方は。

A 都市拠点と地域拠点を1日に最低5便で結ぶ拠点間交通を構築し、結節点の地域ターミナルは、単なる待合所ではなく、利用者が会話を楽しめる空間にしたい。

小規模農業経営にも 手厚い支援を

Q 農業支援センターを中心に、労働力共有と農機具のリース制度を構築しては。

A 労働力確保については、JAなど関係機関と連携し情報の共有など対応したい。農機具リースについては、リタイアした農家の生産資材の活用を検討している。

Q 農業用水路の整備を進めてはどうか。

A 水路の堰払いや草刈りを計画的に行い適正に管理している。作業軽減のため、県営圃場整備事業などで水路のバイブライン化を進めることは重要と考える。

北上コンピュータ・ アカデミーの学校法人化を

Q 財政面を研究し、具体的な内容で県立短大化を県に要望してはどうか。

A 当市に県立の高等教育機関ができれば、一層の人材確保や産業振興につながる。財政面も研究し、今後も県に働きかけをしていく。



関連質問
みやけ やすし
三宅 靖 議員

認定こども園化の 進捗状況は

Q 現在進められている認定こども園の計画はどうなっているのか。

A 横川目幼稚園と横川目保育園の認定こども園化を検討している。昨年6月に和賀地区自治協議会が地区住民を対象に勉強会を開催し、12月に区内全世帯にアンケート調査を行った。その結果を基に、平成29年度中に設置に当たっての具体的な条件を整理する。



会派代表質問



佐藤 重雄
高橋 晃大
佐藤 恵子
及川 誠
八重樫七郎
高橋 孝二

働き方改革 具体的な取り組みは

Q 残業の多い職場への対策は。

A 今年1月に庁内アンケートを行い、時間外勤務削減のための対応策をまとめた。改善活動を各課で発案し、取り組みを始めている。管理職を始め、職員の意識改革や生産性向上、業務量の抑制などの改善の取り組みを進める。

Q ノー残業デーの実施とワークライフバランス推進室を設置する考えは。

A ノー残業デーは平成29年4月から実施。推進室は設置せず、人事担当の総務課と政策経営担当の政策企画課が中心となり取り組みを進める。



代表質問者
たかはし こうじ
高橋 孝二 議員

小中学校のトイレ洋式化を 加速すべき

Q 早期に100%にするため計画を見直すべきではないか。

A 計画を前倒しし、平成29年度は、前年度の2倍程度の事業費を計上している。より早く100%を達成できるように取り組む。



シティプロモーションの 取り組みによる効果は

Q 北上市の人口動態への影響と、地域のまちづくりへの効果は。

A 市民自らが地域資源を発掘し、その魅力を内外に発信することは、地域への愛着や誇りを作る。それが北上市の魅力や個別資源の価値を高めることになり、認知度の向上や交流人口の増加が実現する。人、モノ、資金の好循環により、地域の社会経済が活性化されるものと期待している。積極的にプロモーションすることにより、将来的には移住定住人口の増加に繋がると考えており、16地区においても移住定住人口の増加に繋がる取り組みや、コミュニティの活性化に役立つものと考えている。

北上駅前地域の まちづくりのコンセプトは

Q 駅西口の再開発ビルの今後の見通しを含め、駅前地区の活性化の方針を示せ。

A 北上駅周辺を「都市機能誘導区域」と位置づけており、再開発ビルを含む駅西口エリアの再々開発の規模や手法、可能性等について研究する考えであるが、具体的な整備時期や整備方針は現在のところ未定である。



▲駅西口の再開発ビル

〔※〕防災士：日本防災士機構による民間資格。取得には、防災に関する知識や技能等を修得するため、講習の受講などが必要。

Q 選定委員からは、事業者の意識改革が必要との意見が出された。市が提示した年間1200万円の放送委託料は、意識改革を削ぐのでは。

A 最終的な事業計画書の提出を求め、安定的に継続できると判断すれば、本協定を締結する。

A どちらも地域防災を進める上で有効である。リーダーの育成と同様に、住民の防災知識を高めることが大切であり、防災士の資格取得も推奨する。

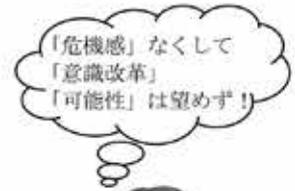
Q 地域防災活動リーダーによる講座の受講や、防災士(※)の資格取得を推進してはどうか。

防災意識の啓発を

他のFM局の放送料等を参考に設定した。募集の際には委託料の提示が必要と考えた。

コミュニティFM 事業の可能性は

Q 運営事業者候補の北上ケーブルテレビ(株)のプレゼンは、多くの不安材料が指摘された。改善された事業計画書の提出は。



うめき しのぶ
梅木 忍 議員

水洗化未整備地域をなくすため、市の新たな政策を示せ！



たけだ まさる
武田 勝 議員

合併処理浄化槽 融資あっせんを

Q 合併処理浄化槽を設置する場合の個人負担額は、5人槽で約115万円。工事費の融資あっせん制度を創設し、早期の水洗化100%を目指すべきでは。

A 公共下水道で水洗トイレに改造する場合は、改造資金の融資あっせんを行い、利子の一部を市が負担する制度がある。合併浄化槽については、同様の制度の早期導入に向けて検討する。

Q 融資あっせん制度を、商店や温泉、集会所でも使用できる制度としては。

A 普及率の向上を目指した制度を考えており、対象は個人とし、拡大は考えていない。

Q 近所が共同で合併処理浄化槽を設置する方式を推奨する考えは。

A 管理方法等に問題があるとの理由から、保健所が設置を許可していない。市でも建築確認申請において、一つの敷地に一つの浄化槽設置を指導している。

地区交流センター 体制のあり方は

Q 職員の人材確保のため、安定した雇用環境が必要では。

A 業務量の増加により人材確保が課題となりつつある。指定管理料や人員の見直しは、意見交換を行い、必要な対応をしたい。

学校給食センター 施設整備の考えは

Q 中央学校給食センターの整備を、PFI事業方式とする理由は。

A 民間資金を活用し設計、建設、運営を一括で発注することで、コストダウンと建設費負担を平準化でき、PFIが最も適した方法と考えた。



ひらの あさのり
平野 明紀 議員

Q 指定管理料、地域づくり総合交付金の使途の自由度を高めては。

A それぞれの地域性が発揮されるように、自治組織と協議しながらさらに見直しを進める。

Q PFI事業は、大手企業が参入する事例があるが、地域経済への影響は。

A 地元企業が参画できるよう、公募や発注を工夫する。

〔※〕祖父手帳：昔と今の子育ての違いなどが書かれ、親と祖父祖母との世代間ギャップ解消のため、一部の自治体で発行している冊子。



おばら きょうこ
小原 享子 議員

「祖父手帳(※)」で
子育て応援を

Q 「祖父手帳」発行の
考えは。

A 親世代とのコミュニ
ケーションを円滑に
し、子育ての共通理
解を深める手段とし
て有効と思われる。
導入については、
ニーズや必要性など
を研究していく。

介護予防・日常生活
支援総合事業推進は

Q 支え合い訪問介護
サービスの研修制度
の内容は。

A 2日程度の日程で、
認知症高齢者など利
用者とのコミュニ
ケーション技術や、
緊急時の対処法な
ど、現場実習も行
う。

Q 子育てのための育児
休暇推進は。

A 庁内では年次有給休
暇を取得しやすい環
境をつくる。企業へ
の推進については、
社会動向を注視し判
断する。

Q 百歳体操など介護予
防活動に、ポイント
制度を導入しては。

A 住民自らが介護予防
に取り組む活動を拡
大させる有効なツ
ールのひとつとして検
討する。



あんとか すみこ
安徳 壽美子 議員

食育を進める
学校給食を

Q 食育基本法が制定さ
れ、学校給食法でも
食育が重視されてい
るが、学校給食の目
的は。

A 栄養バランスのとれ
た食事の提供による
健康増進と、食への
理解と判断力を養う
重要な役割を担って
いる。

Q 栄養教諭の増員を。

A 県の基準により各セ
ンターに2名ずつ配
置されている学校と
連携して食育活動が
できているので市単
独の配置は考えてい
ない。

Q 地場産品の活用状況
と、週5日の米飯給
食実施は。

A 平成27年度の地場産
品利用率は、約36
%。県産品を含め
ると51%。今後も活
用を進める。米飯給
食は、子どもたちの嗜
好も考慮し検討す
る。

Q 全国で62自治体が給
食の無料化を実施し
ている。給食費年間
4〜5万円の負担軽
減を実施すべきで
は。

A 就学困難な児童生徒
に対する就学援助に
より、給食費への支
援を継続していく。



すずき けんじろう
鈴木 健二郎 議員

PFI方式導入の
検証は

Q 中央学校給食セン
ターの整備を、PFI
方式で進めようと
しているが、市民・
議会との議論をどう
進め、経費削減効果
をどのように検証した
か。

A コンサルタントの算
定で6%の削減効果
が出た。PFI方式
は、民間が資金を調
達することから金利
負担が起債(※)より多
くなるが、運営開始
前の費用負担が少な
く整備後に財政負担
を平準化できること
から適切な方法であ
ると考えた。市と事
業者のリスク分担は
今後整理する。協議
や情報公開等に不十
分さはあつたかもし
れないので、疑問点
を説明できる資料を
公開する。指摘の点
を十分配慮し進めた
い。

Q 食育など教育的視点
からの検討は。

A 安心・安全の給食が
大前提である。食育
の推進については、
これまでどおり県教
育委員会から栄養教
諭が配置になるの
で、支障はないもの
と考える。

〔※〕起債：地方自治体などが、事業資金を調達するため、会計年度を超えて借入れを行うこと。

コミュニティFM
補正予算

記名投票により可決
運営事業者めぐり議論・修正案の提出も

会議期間
1月18日～27日

審議した議案
補正予算…1件
発議案…1件



運営事業者の選定が遅れ、平成28年度中に完了できない「地域情報システム整備事業」の予算を次年度に繰り越す原案に対し、繰り越しを削除する修正案が出されました。8年ぶりの記名投票の結果、原案を可決しました。

「地域情報システム整備事業」を繰り越す費用から削除する修正案

提出者

三宅 靖 議員ほか4名

コミュニティFMの運営事業者は、1回目の選定委員会では該当者がなく、2回目で選定された事業者は、多くの不安材料が露呈している。運営を任せるにはふさわしくない事業者であり、事業を繰り越してこのまま進めるべきではない。

討論

原案反対・修正案賛成

高橋 孝二 議員

2回目の選定委員会でも500点満点中311点であり、委員5人のうち3人は60点以下であった。専門的知識の面、要員配置の面、特に営業力でも容認できる運営事業者ではなく、市民の理解も得られない。選定を見直すべきである。

原案賛成・修正案反対

高橋 光博 議員

外部の専門家に依頼して策定された審査基準により運営事業者を選定したものであり、その結果にあえて異論を唱えることは、北上市の信頼の扉を閉ざすものである。繰り越すべきではないとの議論には結びつかず、原案に賛成である。



賛否	新 清 会			北 新 北				政 会			無 会 派															
原案に賛成○	菊池 勝	昆野 将之	齊藤 律雄	藤本 金樹	高橋 光博	高橋 初男	平野 明紀	小田 島徳幸	三宅 靖	阿部 眞希男	武田 勝	梅木 忍	小原 敏道	高橋 晃大	佐藤 恵子	及川 誠	八重 櫻七郎	佐藤 重雄	高橋 孝二	熊谷 浩紀	小原 享子	安徳 壽美子	星 敦子	鈴木 健二郎	八重 櫻善勝	
13	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
原案に反対●																										
11																										

コミュニティFMをめぐる経過

平成25年3月 コミュニティFMの電波伝搬調査や設備設計を含む当初予算を可決。

平成25年度 市民や民間団体の意向調査などを行ったことと、電波調査等の予算は未執行となった。

平成26年3月 電波調査が進まない状態での設備整備は認められない等の理由から、設備整備費を削除する当初予算の修正案を可決し、事業は凍結された。

平成27年5月 「災害時にも対応できる地域情報システムの確立」が市の重要課題に位置づけられた。

平成27年6月 地域情報システムの調査業務委託料を削除する補正予算の修正案を可決。

平成27年10～11月 総務常任委員会協議会で、市当局と「災害時にも対応できる地域情報システム」について比較検討。

平成28年3月 電波伝搬調査と送信所などの設備設計費用を減額する当初予算の修正案を可決し、原案を可決。

平成28年11～12月 コミュニティFMの運営事業者選定委員会が2回開催され、北上ケーブルテレビ㈱が運営事業者候補に選定された。

議案 発議

自衛隊の南スーダン
派遣撤退を求める
意見書

提出者

鈴木 健二郎 議員
ほか4名

南スーダンでは緊迫した状況が続いており、紛争当事者間で停戦合意が成立していることなど、前提条件である「PKO参加5原則」が保たれているとは言えません。PKO派遣部隊の安全確保がきわめて困難となっており、政府軍と反政府勢力の軍事作戦の拡大も危惧されていることから、南スーダンから自衛隊を撤退するように国に求めるものです。

討論

反対

熊谷 浩紀 議員

国連もPKOの継続派遣を決めており、危険の伴う活動ではあるが、自衛隊にしかできない責務をしっかりと果たしている。南スーダン政府からの評価も高い。武力攻撃が起きているような不安をおおるべきではなく、意見書に反対する。

賛成

星 敦子 議員

停戦合意の破綻は明瞭であり「PKO参加5原則」が崩壊した内戦状態で、政府軍や反政府勢力との戦闘が想定される。自衛隊員の命が奪われる危険が一層高まっている。日本が行うべきは、非軍事の国際貢献であり、意見書に賛成する。

採決結果

賛否		新 清 会					北 新 会					北 政 会					無 会 派									
賛	否	菊池	昆野	齊藤	藤本	高橋	高橋	平野	小田	三宅	阿部	武田	梅木	小原	高橋	佐藤	八重	及川	佐藤	熊谷	小原	安徳	星	八重	鈴木	
成	対	勝	之	雄	樹	博	男	紀	幸	靖	男	勝	忍	道	大	子	郎	誠	浩	享	美	敦	善	二		
○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	5																									

全員が賛成しました

・平成28年度北上市一般会計補正予算（第6号）

第218回臨時会議 2月16日



道路の除雪の費用に 8800万円を追加

道路除排雪事業について、過去5年の降雪量及び委託料を踏まえ、当初予算の1億9600万円に、不足が予想される額を追加補正しました。

除雪の費用は…

道路除排雪の委託料は、実際に稼働した時間単価による「変動費」と、除雪機械の管理費として月額単価の「固定費」の合計で算出されます。平成23～27年度の平均委託料は、2億9千万円ほどでした。

全員が賛成しました

・北上市市税条例の一部を改正する条例の専決処分について

平成29年度の 定例会が開会

平成29年度の市議会定例会が4月11日に招集されました。ただちに開かれた臨時会議で、会期を平成30年3月23日までの347日とすることを決定。今年度の通年議会が始まりました。

市税条例の 専決処分を承認

軽自動車税は、グリーン化特例による軽減について、排ガス・燃費の基準を厳しくした上で2年間延長します。国民健康保険税では、軽減判定における所得の基準額を引き上げました。

第220回臨時会議 4月11日



議会運営委員会

視察期間 1月24日～26日

大阪府岸和田市議会 政策討論会

市政の重要な政策について共通認識を持ち、活発に意見交換を行うことを目的に、平成23年度から「政策



討論会」を行っている。全議員が3つの分科会に分かれ、1年間にわたり各テーマに沿って議論を重ね、それを全体会議で報告し合う。平成28年度には、「自治基本条例」「地場産業の発展」「災害時の議会の対応」をテーマとした。分科会で発言したことは要点を整理し、記録はホームページで公開。この取り組みにより議会が活性化し、一般質問の登壇者が増加。政策提言まで発展させることが課題となっている。

兵庫県宝塚市議会 自由討議

平成23年9月から、常任委員会で議案を審査する際に「自由討議」を導入。賛否の意見表明である「討論」と異なり、発言の真意を確認することもでき、審査の議論が深まっている。また、議案の概要・論点・質疑・自由討議・討論・採決の内容を、常任委員会ごとに報告書として整理し、全議員に配付することで情報が共有されている。報告書は傍聴者にも配られ、議論の経過を公開している。自由討議に時間を要するため、会期日程を見直し、常任委員会を会期の前半に、一般質問を後半に行っている。課題は、審査時間の大幅な増大が挙げられる。



議会改革推進会議

視察期間 2月6日・7日

長野県飯田市議会 議会による行政評価

飯田市議会では、議会の責務として、適正な行政運営の確保に努めるため、市執行機関の監視・行政評価を行っている。はじめに、各常任委員会で評価対象を選定し、それぞれの議員が、方向性や目標の達成状況について評価。結果を持ち寄り、常任委員会としての評価を決定。常任委員会の評価を議会全体で検討した上で、市長に提言している。その提言内容がどのように反映されたのかについて、次年度予算の審査の前後に説明を受ける。行政評価から決算審査、

予算審査へのサイクルにより、執行機関を効果的にチェックできている事例であった。



岐阜県可児市議会 予算決算審査サイクル

議長と監査委員を除く全議員で「予算決算常任委員会」を設置。特に決算審査を重視し、飯田市議会と同じように予算への提言を行っている。



政策サイクル

議会全体で行う議会報告会や地域課題懇談会（高校生や各団体との意見交換会）、常任委員会単位で行う関連団体との意見交換会など、市民の意見を聴取する場でも出された意見を、担当の常任委員会の調査事項に加え、政策提言につなげている。また、一般質問で取り上げられた課題等も、常任委員会の調査事項としている。

広聴広報委員会

視察期間 2月1日・2日

神奈川相模原市議会

議会ホームページ

議会のホームページは、市とは別の独自ドメインを取得して開設。レイアウトを自由に変更できない点や更新までに時間を要する点、市民との双方向性を実現できない点といった課題を解決するために取り組んだものだった。議会のインターネット中継録画や会議録検索とも連動し、議員別の発言などが検索しやすくなっている。ホームページのリニューアル後、アクセス数が2倍以上となっており、効果は高い。また、若年層の関心を喚起するため、市内の美術大学と連携し、議員の仕事の一部を漫画で紹介し、ホームページで公開している。学生が関わることで、一層親しみやすさが増している。

神奈川藤沢市議会

カフェトークふじさわ

議会報告会の反省点として、参加者が少ないことや、年齢に偏りがあること、発言者が限られることなどがあつた。その改善策として、法政大学の協力により、ワールドカフェ方式(※)で意見交換会を開催した。「カフェトーク」というネーミング、チラシの工夫により、女性や若者の参加が増加。テーブルごとの進行役を大学生が務め、話しやすい雰囲気だったと参加者の9割が満足した。出された意見から、どう政策提言につなげるかという課題は、当市議会と共通である。

埼玉所沢市議会

広聴広報の活動

ワールドカフェ方式の意見交換会は、20〜50代の無作為抽出した市民800名に案内を送付。36名が参加を希望し、参加者からは好評であった。議会だよりも検討を重ねてリニューアルし、フェイスブックなども活用して情報発信に力を入れている。マスコットキャラクター「みみ丸」は随所に登場し、印象を和らげている。さらに、常任委員会で見



り組んでいる課題について、パネルディスカッション等による「政策討論会」を実施し、市への提言につなげていることは大変参考になった。



参加を呼びかけるチラシはやわらかいイメージ

(※)ワールドカフェ方式：参加者が少人数に分かれたテーブルで自由に対話を行い、ときどき他のテーブルとメンバーを入れ替えながら話し合いを発展させていくこと。

研修報告

課題解決につなげるための
議会質問について研修会を開催

平成29年2月17日

議員全員で構成している市政調査会では、政務活動費を活用し、毎年講師を招いて研修会を行っている。

今回の講師は、合同会社政策支援の細川甚孝代表。テーマは『成果が見える議会質問の進め方』で、特に一般質問の課題の見つけ方から質問へのつなげ方、そして成果までの具体的な手法について、ステップごとに詳しく講演していただいた。さらに、グループワークで具体的な課題例からの質問の導き方まで実習した。

議員からは、かなり参考になった反面、今までの質問がいかに準備不足だったか思

い知らされたとの声もあった。また、データや他市の事例などの参考として、「経済レポート」や「地域経済分析システム(RESAS)」などのサイトも紹介していただいた。



議会の動き（1月～4月）

- 1月6日 広聴広報委員会広報部会
10日 各派代表者会、教育民生常任委員会
13日 議会全員協議会
花巻市議会との研修交流会
16日 議会運営委員会
18日～27日
第217回1月臨時会議（→14～15P）
19日 農業団体との研修交流会
23日 議会運営委員会
24日～26日
議会運営委員会行政視察（→16P）
27日 教育民生常任委員会
30日 総務常任委員会
31日 教育民生常任委員会
- 2月1日～2日
広聴広報委員会行政視察（→17P）
6日～7日
議会改革推進会議行政視察（→16P）
9日 教育民生常任委員会
15日 議会運営委員会
大阪府大東市議会【視察受入】
16日 **第218回2月臨時会議（→15P）**
議会全員協議会、各派代表者会
教育民生常任委員会
産業建設常任委員会
17日 **市政調査会議員研修会（→17P）**
22日 教育民生常任委員会
23日 教育民生常任委員会
27日 議会運営委員会
広聴広報委員会広報部会・広報部会
- 3月1日 教育民生常任委員会
2日～24日
第219回3月通常会議（→2～13P）
《本会議の傍聴者数は31名でした》
3日 教育民生常任委員会
7日 各派代表者会
16日 広聴広報委員会広報部会
22日 議会運営委員会、各派代表者会
24日 議会全員協議会、議会運営委員会
28日 議会改革推進会議
- 4月10日 各派代表者会、議会運営委員会
11日 **第220回4月臨時会議（→15P）**
市政調査会（行政視察報告会）
広聴広報委員会広報部会
17日 **政務活動費検証委員会（→13P）**
市政調査会
18日 教育民生常任委員会
19日 議会改革推進会議
21日 広聴広報委員会広報部会
25日 教育民生常任委員会
26日 三重県名張市議会【視察受入】
27日 広聴広報委員会広報部会
28日 総務常任委員会、教育民生常任委員会
産業建設常任委員会、市政調査会

市民と議会をつなぐ会のお知らせ

～ 今年7月に開催 ～

北上市議会では、市民に議会の活動を知ってもらい、意見交換をする場として『市民と議会をつなぐ会』を毎年開催しています。今年度は、7月上旬に各地区交流センターでの実施を予定しています。

※日程等の都合上、会場によっては実施を見合わせる場合があります。

日程・会場・テーマについては、決まりしだいホームページなどでお知らせします。

どなたでも参加いただけます。議員と直接意見交換のできる機会ですので、ぜひご参加ください。

テーマ候補

- ① ごみの減量
- ② 公共交通
- ③ 人口減少対策



▲昨年度は、高校生や女性団体等と個別に意見交換を行いました（写真は黒沢尻工業高校のみなさん）

皆様からいただいたご意見は 議会で取り上げています

《平成27年7月の「市民と議会をつなぐ会」を例に》

- ・公共交通が不便
→平成27年9月定例会の一般質問で、公共交通活性化への対応について議論。
- ・市内に特別支援学校がない
→一般質問でたびたび取り上げ、会派などが市に要望書を提出。
→平成27年度2月通常会議で分教室設置の予算を可決。平成29年4月開室。

6月通常会議の日程（予定）

～ 議会を傍聴しませんか ～

日	月	火	水	木	金	土
4	5	6	7	8	9	10
				開会日		
11	12	13	14	15	16	17
			一般質問		常任委員会	
18	19	20	21	22	23	24
	常任委員会				最終日	

※いずれも午前10時からの開催です

	委 員	副 委員 長	委 員 長	広 聴 広 報 部 会	広 聴 広 報 委 員 会
鈴木 健二	及川 誠	武田 勝	藤本 金樹	高橋 晃大	菊池 大勝
				小原 享子	
				三宅 靖	